

# 課所室業務棚卸総括表

平成16年度(前期)行政経営会議用 様式2

年度	16	部局	課所室	担当(係)	作成者(職)	(氏名)	(連絡先)	棚卸表コード	No.
作成日	H16.7.15	福祉保健部	障害福祉課	障害福祉担当	-	-	-	2福障01	4

業務名称	身体・知的障害(児)者支援事業	成果指標	実績(H15)	目標(H17)	人工数(人)	予算(千円)
上位目的	障害者が社会全体の中で自らの能力を活かし、住み慣れた地域の中で充実した生活ができるようになる。	障害者のうち18～64歳の市県民税納税義務者の割合	27.44%	28%	14.0	2,925,990
担当業務目的	障害者自身が主体性と自主性を確保し、社会のあらゆる分野に積極的に参加できるよう支援する。	障害者のうち18～64歳の市県民税納税義務者の割合	27.44%	28%	14.0	2,925,990

活動概要(担当業務目的達成のための手段(2桁レベル))				事業費(千円)	備考欄
活動における指標		実績(H15)	目標(H17)		
担当業務目的達成のための主な手段(4桁レベル)					
01 障害者福祉の充実				2,485,459	(1)身体障害者・知的障害者保護費(支援費)施設および居宅の全ての支援費・補装具交付など (2)身体障害者・知的障害者小規模作業所育成事業、小規模通所授産施設運営費補助事業 作業所5カ所(身障2、知的3)、授産施設3施設(身障1、知的2) (3)身体障害児者日常生活用具給付等事業 重度身体障害者を対象として、一般生活用具・吸引器・パソコンなどを給付 (4)身体障害者・知的障害者福祉施設整備費補助金等 拠点センター内に身体障害者デイサービスセンター・知的障害者通所授産施設・知的障害者デイサービスふきのとう大規模修繕、社会福祉施設振興費補助金 (5)17年度障害者プラン策定(計画期間H18～H23)
障害者福祉関連サービス延利用者数		22,276人	35,810人		
施設福祉サービスの充実を図る 在宅福祉サービスの充実を図る 障害者プランの策定を行う					
02 障害者の社会参加と自立促進				218,635	(1)身体障害者・知的障害者交通費補助事業 障害者の社会参加促進のため、バス運賃を無料とする事業(恒常的に介護人の同乗が必要な場合を除き介護人は対象外)人工透析患者に対し月16枚(580円/枚)、他は月4枚交付 (2)身体障害者生活支援事業・在宅障害児者地域生活支援事業 在宅の障害者福祉サービスの利用に関する相談、援助、療育指導等をする (3)知的障害者保護費(地域生活援助支援費) (4)障害者社会参加促進事業 手話奉仕員養成講座の開催、手話通訳者の人件費、自動車免許取得の助成、障害者スポーツ教室開催などの経費 (5)障害者就業・生活支援事業 身体・知的・精神の3障害者を対象に就労支援担当者を配置し、具体的に障害者の就労を進め職場定着を図る (6)知的障害者就労環境支援事業 秋田市リサイクルプラザで職業訓練をしている知的障害者の指導員を配置する経費
社会参加率		72.3%	85.6%		
地域生活を支援する 就労のための援助・支援する 移動手段を確保する 外出時の介護を支援する コミュニケーション手段を確保する スポーツ活動等の振興を図る 障害のある人への理解を促進する 情報提供体制の充実を図る					
03 各種援護・福祉サービスの利用促進				221,896	(1)特別障害者手当等給付費 特別障害者手当、障害児福祉手当、福祉手当の給付 (2)更生医療・育成医療給付・公費負担医療費(知的障害者入所施設) (3)特別障害者手当、特別児童扶養手当、育成医療等給付経費 (4)心身障害者扶養共済制度掛金給付事業
生活支援事業利用(相談等)延件数		6,245件	9,513件		
身体障害者手帳を交付する 療育手帳を交付する 障害者手当等各種手当の適正給付を図る 医療費を助成する 支援費制度の推進を図る					